

## 令和2年度 8月定例教育委員会会議における協議事項について

### 協議事項（1）「奈良市の目指す教育について」

#### ◆ 協議概要

国の教育振興基本計画で示す教育を巡る現状、課題と奈良市の各種調査データを基に、「奈良市の目指す教育の背景」と「目指す教育」を作成し、教育目標、目指す子ども像について協議した。

#### ◆ 発言概要

- 奈良市教育憲章など長く受け継いできたものを大切にしながら新しいものを生み出していくことが大切である。
- 目標について、奈良を誇りに思うという部分がきちんと伝わるように文言の検討が必要である。
- 目標のサブタイトルの位置づけをしっかりと考えるべきである。
- 資料の扱いについて、教育に関するものだけではなく、国の社会状況について示すことも必要である。また、奈良市の人口の推移については、資料の必然性や意味が明らかになるよう、2030年までを見て政策を行う背景データとしてはどうか。
- コロナの流行については社会を大きく変えるものであるから、積極的に触れるべきである。
- 基本方針について、目標と基本方針とのつながりが充分ではない。そのつながりの意図についてもしっかりととらなければならない。
- 国の第3期教育振興基本計画で掲げる目指す子ども像と、奈良市が目指す子ども像の関連性が見えづらい。
- 「生涯にわたり学び続ける」必要性を実感しづらい子どもたちが、意欲を高めていけるのかどうかは答えがない。しかし、趣旨は間違っておらず、「生涯にわたり学び続ける」ことを年長者が若い世代に言い続けなければならないと思う。義務教育段階で非常に困難な課題を教員が担う役割となっている。
- 「生涯にわたり学び続ける」ことを先生方が子どもたちにどう提供していくかというところは、従前からのキャリア教育としっかりつなげることができたらよいと思う。